

健康福祉常任委員会報告

障害者福祉事業所「にじの杜」と懇談(報告)

11月9日、コロナ禍における障害事業の現状を知るため、社会福祉法人 戸田市社会福祉事業団が運営する「にじの杜」の理事長らを招き、懇談を行いました。にじの杜は、軽度の障害者が通う生活介護、軽度から重度の障害者が泊まることのできるショートステイ、軽度の障害者が自立を目的にする就労支援B型の3事業があります。昨年の新型コロナ感染対策により緊急事態宣言が明けてからも、感染不安が拭えず、生活介護や就労支援を休む方がおり、その方の対応は電話で確認されていました。

利用者の保護者からは「泣いたり、怒ったり不安定なことが多くなった」「不安定な時は(家族が付き添って)外出すると安定する」などの声があがっており、利用者本人と事業所の方が電話で話をすると安定することも紹介されました。また、にじの杜を利用した後に移動支援を使って、映画やスポーツ観戦を楽しんでいた方が外出を控えるようになり、楽しみが奪われていることがわかりました。事業所で一番困っていることは、人材不足であり専門職である職員の確保が困難であることが挙げられました。

市の補助金を受けて、行っている事業所であることから、今後も引き続き職員の確保や事業の内容を聞き取りながら、よりよい障害者のサービス提供に繋げていきたいと思いました。

健康福祉常任委員会 副委員長 むとう葉子